

日本 GE 株式会社×児童養護施設 東京育成園



【授業風景】

東京育成園と、GE 社員ボランティアさん達との交流は、「KIDS インターナショナル」に当園の高校生が参加したのがきっかけで、20年にわたって継続しています。活動の主体となるNPO KIDSは、「首都圏に在住する社会人ボランティアが、様々なハンディキャップをもつ子ども達の生活・教育及び、社会的自立を支援する活動グループ」で、障害をもつ子ども達や、社会的養護を必要とする子ども達の自立支援に積極的にかかわっている団体です。上記のプログラム

も、海外に出る機会の少ない児童養護施設で暮らす高校生に、国際交流の場を提供し、海外の文化や生活に触れることで視野を広げ、今まで気づけなかった自分自身のさらなる可能性を発見することを目的とし、米国フロリダ州にある難病短期滞在施設を訪問し、そこを活用している難病の子ども達との交流をメインプログラムとして企画されたものです。参加する高校生は、皆 自分の意志で応募していますが、どちらかという、海外のみならず、日本国内においても、見知らぬ場や見知らぬ人たちへの不安が強く、他者とのコミュニケーションを不得手とする上に、英語力もおぼつかない子が多い中、その子たちをまとめて渡航するのは、大変な労力のいる作業です。12月の渡航に向けて、9月から毎週末、GE 社員さんたちが中心となり、子ども達への英語のレッスンがスタートします。子ども達にわかりやすく工夫を凝らした内容は、子ども達の目に、耳に、心に響くものであり、毎回、英語に対する好感度を上げてくれます。まずは、子ども達を受容し、子ども達ひとりひとりの個性を見出し、子ども同士が違いを尊重し、互いの良さを認め、高めあえるように支援して下さる社員の皆さんの姿勢はすばらしく、子ども達も信頼し、良い関係が構築されています。

残念ながら、1997年から継続していた海外での活動は、後援するスポンサー不足ということで、2010年で終了となりました。が、毎年この企画を楽しみにしている高校生の期待を受けて、スタッフやGE 社員の皆さんが翻弄して下さり、新たに、「京都で外国人観光客のツアーガイド」としてプロジェクトを発足していただき、早や5年が経過しました。当園では、毎年 参加した高校生が後輩に引き継ぎ、子ども達の中で「大切なプログラム」として位置づけられています。

各企業内で社会貢献への意識が高まり、ボランティアの申し出も増えている最近ですが、企業側の一方的な思いばかりが先行し、単発で終わりがちな現状の中、KIDS インターナショナルでは、社員さん自らが主体的に活動しています。プロジェクト終了後も、子ども達との出会いを大切に、バーベQを企画してOBOGの近況報告の場を作っていたり、社会に馴染めず、引きこもりがちな子には、外に出るきっかけ作りをしてもらったり、継続した支援を実践していただいています。

子ども達は、「KIDS インターナショナル」に参加する事で、プログラムの中で貴重な体験や充実感を得るだけでなく、GE 社員さんたちをはじめとする社会の先輩達と出会い、新たな視点での助言や体験の機会をいただき、新しい世界に踏み出すための、「勇気」や「自信」を身につける後押しをしていただいています。子ども達の自立を継続的に支援していただいている当園の貴重なボランティア活動として「KIDS インターナショナル」を紹介し、その中でのGE 社員ボランティアの働きに感謝し、その功績を推薦いたします。



【日枝神社での模擬演習風景】